



2024年6月3日

各 位

会社名 トヨタ自動車株式会社
代表者 取締役社長 佐藤 恒治
(コード番号 7203 東証プライム・名証プレミア)
お問合せ先 資本関連事業部長 森山 由英
(TEL. 0565-28-2121)

型式指定申請における調査結果に関するお知らせ

本年1月26日の国土交通省からのご指示に基づき、トヨタ自動車株式会社は型式指定申請に関する調査を進めてまいりました。まだ調査の途中ではありますが、2014年以降、すでに生産を終了しているものも含め、7車種において国が定めた基準と異なる方法で試験を実施していたことが判明し、5月31日にその旨を国土交通省に報告いたしましたので、お知らせいたします。

本件に関する詳細につきましては、別紙プレスリリースをご参照ください。

なお、現時点において、本件に伴う当社連結業績予想への影響は軽微です。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

以上

2024年6月3日

型式指定申請における調査結果について

本年1月26日の国土交通省からのご指示に基づき、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）は型式指定申請に関する調査を進めてまいりました。まだ調査の途中ではありますが、2014年以降、すでに生産を終了しているものも含め、7車種において国が定めた基準と異なる方法で試験を実施していたことが判明し、5月31日にその旨を国土交通省に報告いたしました。

対象は生産中の3車種（カローラフィールダー/アクシオ、ヤリスクロス）における歩行者・乗員保護試験でのデータ不備と、生産終了した4車種（クラウン、アイシス、シエンタ、RX）における衝突試験等の試験方法の誤りになります。

トヨタをこれまで信頼いただいていたお客様、ステークホルダーの皆さまに、ご心配、ご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。先般、認証に関する問題が発覚した日野自動車株式会社、ダイハツ工業株式会社、株式会社豊田自動織機に引き続き、トヨタで問題が判明したことは重大なことで受け止めております。

対象となる車両は、すでに生産を終了しているものも含め、社内での徹底的な検証において法規に定められている性能に問題無いことを確認しております。従いまして対象車両にお乗りのお客様はただちに使用をお控えいただく必要はありません。

今回の調査結果を踏まえ、現在、日本国内で生産中の3車種（カローラフィールダー/アクシオ、ヤリスクロス）については本日より一旦、出荷・販売を停止することを決定いたしました。国土交通省の指導のもと、速やかに立会試験などの適切な対応を進めてまいります。

本年1月にグループビジョン「次の道を発明しよう」を発表しました。トヨタらしい企業風土である、現場が主権をもった「もっといいクルマづくり」に取り組んでまいります。

あらためまして、お客様、ステークホルダーの皆さまに深くお詫びを申し上げます。